
巡る廻る物語

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
巡る廻る物語

【Nコード】
N4532L

【作者名】
嘩月・k a r d / z r u k i

【あらすじ】
- - - - -

朝の眩しさや、昼の煩さ、夜の静けさも全部愛しい。
流れた時間を空になぞった。

雑踏街の暗い夜は、光り輝く淋しい景色。

中心部の高い展望台から渦巻いた人々を眺めていた。

それが、希望と絶望に練り込まれたものなら、それなりに綺麗なものだろ。

一十を数えている間に、崩れ去った夢の破片。

『指で四角を作って切り取った映像』。

『黒い画面の極彩色の映像』。

模範解答の通りに答えると間違いだった。

ここまでの物語が全て無駄なんて誰に言われても、溜まった涙を流さずに、ただ無言に。

無益だった時間さえ自分自身のものだから、例えば宝物と言えず腐ったものでも今を形作ってくれる確かな物語。

闇の天深く刻む、煌めく残骸達。

見下ろす世界が美しく見えるだろうか？

朝の眩しさや、昼の煩さ、夜の静けさも全部愛しい。

流れた時間を空になぞった。

「満天の夜空が泣いた時に流れ落とした破片。拾い集めては大事に

抱え込んだ。それが細々と光ったなら、少しは前に進めるだろう」

『夢で描いて作って切り取った影像』。

『白い用紙の極彩色の影像』。

模範解答の通りに答えていた日々を笑っていた。

今からの物語が全て上手くいく証拠は無くても、立ち止まらないで、ただ前進。

懐かしい時間はもう振り返る意味は無いから、昔を馬鹿だと笑っていけるように願って歩く不確かな物語。

朝の眩しさや、昼の煩さ、夜の静けさも全部愛しい。

流れた時間を空になぞった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4532/>

巡る廻る物語

2010年10月10日00時39分発行